

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/06/06 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587010502	科目番号 / Subject code	05870105
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12711_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動b (国際社会と日本経済) / International Societies and Japanese Economy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小山 久美子 / Koyama Kumiko, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	小山 久美子 / Koyama Kumiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	小山 久美子 / Koyama Kumiko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	第1,2回授業で言及		
担当教員研究室 / Laboratory	片淵キャンパス本608		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後20分程度		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	経済活動は国境を超える。輸出入等の観点から、グローバル化の事や問題を考える。		
授業到達目標 / Goal	経済活動である国際貿易に関連した事項、グローバル化現象を歴史の変遷から理解し説明できる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義 / 授業時の受講者学習や授業参加も行う場合あり(受講者人数による)		
授業内容 / Class outline / Con	本授業は特に国際貿易に焦点をあてて、近年顕著になってきたグローバル化現象を歴史の変遷から考える。日本も密接に関与している国際貿易体制では依然として米国の影響が大きく、米国の動向(政府・企業関係)を反映している場合が多い。そのことを歴史的に考察していく。		
キーワード / Key word	国際貿易、歴史、調和化、米国、政府と企業		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に教科書を指定せず、配布資料(英文を含む/但し、授業は日本語で行う)を使用予定		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業時のテスト(複数回予定) 80% / 授業時の提出物20%、詳細は第1,2回授業で言及(変更がある場合もその時言及) 授業の進め方や成績評価の方法の説明は念のため、第3回の授業時にも繰り返すが、それ以降の授業ではせず、個別対応はできかねるので注意。		
受講要件(履修条件) / Requirements	真摯に取り組む者の受講を希望する。きちんと授業に出ることができる学生。		
アクセシビリティ / Accessibility	アクセシビリティ 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業の進め方や成績評価の方法の説明は、念のため第1-3回の授業時に繰り返すが、それ以降の授業ではせず、個別対応はできかねるので注意。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	授業の進め方等の説明		
2-4	貿易障壁/非関税障壁とは		
5-6	非関税障壁の変遷史		
7-8	非関税障壁をめぐる国際的調和化		
9-10	米国の特徴		
11~12	米国の特徴の成り立ち(歴史)		
13~14	米国の特徴(近年の状況)		
15	現在の状況		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587011302	科目番号 / Subject code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動b (企業行動と戦略) / Organizational decision making and strategy		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	後藤 祐一 / Yuichi Goto, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	後藤 祐一 / Yuichi Goto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	後藤 祐一 / Yuichi Goto		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuichi-g@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部東南アジア研究所314		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	初回の講義時に周知する。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本講義では、日常生活を営む上で関わっている企業の行動について、身近な事例などを取り入れながら、企業行動を理解するための基礎的な知識の習得を目的とする。		
授業到達目標 / Goal	本講義では、受講生が習得した知識にもとづき企業の行動について考察できるようになることを目標とする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式で行いますが、数名のグループでディスカッションや課題に取り組むこともあります。また、ビデオやDVDなどの映像資料を用いることもあります。		
授業内容 / Class outline / Con	現時点で予定している内容は、下記のとおりです。変更がある場合は、初回の講義時に説明をします。 第1回と第2回：イントロダクション、マーケティング・ミックス 第3回と第4回：セグメンテーション 第5回と第6回：3つの基本戦略 第7回と第8回：製品ライフサイクル 第9回と第10回：組織における意思決定 第11回と第12回：モチベーション 第13回と第14回：集団の行動 第15回：組織文化 第16回：全体の総括 (期末試験を含む)		
キーワード / Key word	企業, 組織, 戦略		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。 参考書については、講義中に紹介する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	講義中の課題 (50%) , 期末試験もしくは期末レポート (50%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
12/08 3限	・イントロダクション ・マーケティング・ミックス		
12/08 4限	・マーケティング・ミックス		
12/15 3限	・セグメンテーション		
12/15 4限	・セグメンテーション		
12/22 3限	・3つの基本戦略		
12/22 4限	・3つの基本戦略		
01/05 3限	・製品ライフサイクル		

01/05	4限	・製品ライフサイクル
01/12	3限	・組織における意思決定
01/12	4限	・組織における意思決定
01/19	3限	・モチベーション
01/19	4限	・モチベーション
01/26	3限	・集団の行動
01/26	4限	・集団の行動
02/02	3限	・組織文化

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/06/06 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587012101	科目番号 / Subject code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Subject	現代経済と企業活動b (経営情報と会計情報) / Management and accounting information		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishimra@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	片淵キャンパス 経済学部本館ビル6階605研究室		
担当教員TEL/Tel	片淵382		
担当教員オフィスアワー/Office hours	基本的には授業終了後。 その他の時間帯を希望の場合は、上記メールアドレスまでメールで事前相談を。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	組織経営にとって情報は、最も重要な経営資源の一つです。 そのなかでも定性的な情報は全情報の過半を占めますが、数値的な解析が可能な定量的な情報に比べると分析が容易ではありません。 そこで、本講義では最も重要な定性的な除法収集方法である聞き取り調査（インタビュー調査）に焦点を当て、その経営的な意義、実施方法、分析方法について学び、実践によってその定着を図ります。		
授業到達目標/Goal	聞き取り調査に代表される定性的な情報が経営にどのように影響するかについて、実例をもとに説明できるようになる。 聞き取り調査の準備、実施、分析の方法が理解でき、これを実施できるようになる。 プレゼンテーションの方法を理解でき、		
授業方法 (学習指導法) /Method	グループ学習を行います。 毎回出される予習課題をもとに、授業中にこれをグループでまとめるとともに、まとめることによって得た知識をもとに実際の地域課題の発見に向けた活動を行います。 インタビュー報告書を作成し、得られた課題のプレゼンを行います。		
授業内容/Class outline/Con	皆さんは、長崎の地域課題の解決を目標にしたベンチャー企業の経営者です。 長崎の地域が抱える課題を解決するために、どのような課題があるかを市民への聞き取り調査によって明らかにしようと考えています。 そこで、本講義では、聞き取り調査の結果が、経営とどのように結びつくかについて学び、事前資料調査、聞き取り調査の設計・実施、聞き取り調査結果の分析を、長崎市の斜面地にお住いの独居のお年寄りを対象に行います。		
キーワード/Key word	経営情報、聞き取り調査、インタビュー調査、イノベーション、課題発見、KJ法、親和図法、ファシリテーション、傾聴		
教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book	教科書は特に指定しません。 参考書：インタビューの教科書、KJ法 混沌をして語らしめる、フィールドワークの技法		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習・チームへの貢献：50点 チーム活動・プレゼンテーション・報告書：50点 筆記試験は行いません。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	アクセシビリティ 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	斜面地を多く持つ自治会の協力を得て、地域の観察と住民インタビューを行う予定です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	イントロダクション チーム分け グループ学習について		

2	組織経営における情報の役割 聞き取り調査のための情報収集計画の立案
3	収集した情報の分析方法の学習 収集した情報のKJ法による分析
4	斜面地に暮らす住民の方への聞き取り調査の計画
5	聞き取り調査 実際に、長崎市民にインタビュー調査を行い、長崎市民が抱えている課題を聞き取りにより掘り起こします。
6	聞き取り調査結果のまとめ 地域課題の真因について、その解決策についての検討
7	プレゼンテーションについての学習 情報分析とプレゼンテーション資料作成
8	情報分析結果のプレゼンテーション 自治会の方、行政の方にお越しいただいて各チームごとに10分のプレゼンテーションを行います。